

## 礼拝の意味・目的・方法

原田元道

礼拝とは、  
 主権者なる神が恵みと憐みによって  
 御自身を現わしてくれたことに対して、  
 神の思いにかなった従順な態度と敬意を表す  
 敬虔に満ちた人的行為を伴うもの

### 礼拝の意味

- ・ 神がしてくださったことに対する神の思いにかなった人間側の応答：

神がしてくださったこと	神の思いにかなった人間側の応答
恵みによって天地万物を創造し、それぞれに果たすべき役割と機能を与えた(創世記 1 章)	神の代理者として、皆が協力して自然をケアする(創世記 1:28)
恵みによってノアの家族を選び、彼らを洪水の滅びから救われた(創世記 6—8 章)	神のために祭壇を築き、いけにえを捧げる(創世記 8:20)
恵みによってアブラハムを選び、彼を通して全ての人を祝福することを約束した(創世記 12:1-3)	神の言葉に従う(創世記 12:4)
恵みによってイスラエルの民をエジプトの奴隷状態から救い出し、契約を結んだ(出エジプト 1—24 章)	神と結んだ契約を守る(出エジプト 19:5-6)
恵みによって独り子イエスを与え、イエスを信じる者が永遠の命を得るようにされた(ヨハネ 3:16)	悔い改めてイエスを信じ、イエスの掟を守る(ヨハネ 15:9-14)

⇒人間は神を礼拝するために創造された

### 礼拝の目的

- ・ 人が神を礼拝するのは神の栄光のため  
 「キリストにおいてわたしたちは、御心のままにすべてのことを行われる方の御計画によって前もって定められ、約束されたものの相続者とされました。それは、以前からキリストに希望を置いていたわたしたちが、神の栄光をたたえるためです。」(エフェソ 1:11-12；比較：I コリント 10:31)
- ・ 礼拝に値するのは神のみ  
 「わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。あなたはいかなる像も造ってはならない。上は天にあり、下は地にあり、また地の下の水の中にある、いかなるものの形も造ってはならない。あなたはそれらに向かってひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。」(出エジプト 20:2-5)

⇒恵みと憐みに満ちた主権者なる神の栄光をたたえる

### 礼拝の方法

- ・ 神に対する従順な態度  
 「主はマムレの櫛の木の所でアブラハムに現れた。暑い真昼に、アブラハムは天幕の入り口に座っていた。目を上げて見ると、三人の人が彼に向かって立っていた。アブラハムはすぐに天幕の入り口から走り出て迎え、地にひれ伏して」(創世記 18:1-2)

「アブラハムは若者に言った。『お前たちは、ろばと一緒にここで待っていなさい。わたしと息子はあそこへ行って、礼拝をして、また戻ってくる。』」(創世記 22:5)

「イエスはお答えになった。『「あなたの神である主を拝み、 /ただ主に仕えよ」 /と書いてある。』」(ルカ 4:8)

「彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえていた。」(ルカ 24:52-53)

→御前にひれ伏し、神への従順さを表す

- ・ 神に対する信頼と畏敬の念

「イスラエルよ。今、あなたの神、主があなたに求めておられることは何か。ただ、あなたの神、主を畏れてそのすべての道に従って歩み、主を愛し、心を尽くし、魂を尽くしてあなたの神、主に仕え、わたしが今日あなたに命じる主の戒めと掟を守って、あなたが幸いを得ることではないか。」(申命記 10:12-13)

→神との信頼関係を深め、神を畏れ敬う

- ・ 神の思いにかなった生き方

「あなたたちはだから、主を畏れ、真心を込め真実をもって彼に仕え、あなたたちの先祖が川の向こう側やエジプトで仕えていた神々を除き去って、主に仕えなさい。」(ヨシヤ 24:14)

「こういうわけで、兄弟たち、神の憐れみによってあなたがたに勧めます。自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。あなたがたはこの世に倣ってはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであることをわきまえるようになりなさい。」(ローマ 12:1-2)

⇒神への従順さと畏敬の念をもって、生き方そのもので礼拝する

### まとめ(礼拝の意味・目的・方法)

- ・ 礼拝の意味：主権者なる神が恵みと憐みによって御自身を現わしてくれたことに対して、神の思いにかなった従順な態度と敬意を表す敬虔に満ちた人的行為を伴うもの
- ・ 礼拝の目的：恵みと憐みに満ちた主権者なる神の栄光をたたえること
- ・ 礼拝の方法：神への従順さと畏敬の念をもって、生き方そのもので礼拝する

「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。」(ヨハネ 15:9-12)

神(イエス)の愛と恵みに満たされ、  
神(イエス)が愛してくれているように互いに愛し合い、  
神(イエス)の愛にとどまることができるよう